

第 84 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議結果概要

第 84 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議の概要は、以下のとおりです。

1. 日時 : 令和 4 年 12 月 26 日 (月) 16 時 20 分から 16 時 55 分まで
2. 場所 : 大阪府本館 1 階 第四委員会室

【結果概要】**(1) 現在の感染状況・療養状況等**

- 新規陽性者数は、11 週連続で増加傾向が続き、直近 1 週間は 1 日 1 万人程度で推移。
- 直近 1 週間で、特に高齢者施設関連のクラスター発生数が増加。
- 発熱外来のひっ迫は現時点では見られないが、ひっ迫の参考指標の数値はいずれも増加。
- 一般救急患者の搬送困難事案件数も増加傾向。

(2) 大阪モデルについて

- 新規陽性者数は増加傾向であることに加え、12 月 23 日に、病床使用率が 50% 超となり (50.1%)、「非常事態 (赤信号点灯)」の目安に到達。
- このため、本日 (12 月 26 日)、「非常事態」に移行し、赤信号を点灯する。

(3) 大阪府における感染拡大防止に向けた取組み

- 12 月 27 日以降も、現在の要請内容を継続。
- 年末年始に人との接触機会が増えることから、さらなる感染防止対策の徹底や、早期のワクチン接種の検討などを引き続き要請。

(4) その他**<いわゆる「第八波」における主な取組状況>**

- 発熱外来の強化、病床確保と入院調整・搬送体制の整備、自宅療養支援の強化、高齢者への医療療養体制の強化、小児医療提供体制の強化等を実施。

<インフルエンザ疑い患者への相談・紹介対応等について>

- 今冬のコロナ、インフル同時流行に備え、医師会等の協力のもと、相談・電話オンライン診療体制の充実を図る。インフルエンザ疑い (抗原検査キットでコロナ陰性) があり、かかりつけ医のない患者の相談等に対応する医療機関を紹介する。

<年末年始の検査体制の確保について>

- 市町村や医師会等の協力のもと、11 月 27 日～2 月 19 日、臨時発熱外来を設置。年末年始には、JR 新大阪駅及び JR 大阪駅で、臨時無料検査所を開設。また、診療・検査医療機関に対する支援制度も用意。

<施設内療養を行う入所系の高齢者施設等に対する支援について>

- 赤信号点灯に合わせて、国制度に上乗せする、府独自の補助 (療養者 1 人あたり 1 日 1 万円 (最大 15 万円) を再開する。

<ゴールドステッカー認証基準の改正に伴うコロナ追跡システムの終了について>

- ゴールドステッカーの認証基準改正に併せて、コロナ追跡システムを本年末 (12 月 31 日 23 : 59) をもって終了する。

恐れいますが、会議資料につきましては、以下のサイトからご覧ください。

(大阪府ホームページ) 大阪府新型コロナウイルス対策本部

http://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku_keikaku/sarscov2/84kaigi.html